

令和5年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立仲六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成 果

- ・ 楽しんで音楽の学習に取り組める児童が増えてきた。1年生から木琴などの楽器を経験させたことで、「合奏する」ために必要な技能が身に付いてきた。
- ・ 学級の雰囲気づくりを意識してきたことで、失敗を恐れずチャレンジしようとする児童が増えてきた。

(2) 課 題

- ・ 拍やリズム、構成など音楽を形作る要素をとらえることに課題がある。
- ・ 感じたことや工夫したことなどを言葉で表現する（伝える）ことに課題がある。



2 授業改善のポイント

・ 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ いろいろな楽器について奏法や演奏技能を身に付けさせるために、楽器にふれる機会を多く設定する。	・ 楽しく音楽を聴いたり表現したりできるようにするために発表の機会を多く設定し工夫したことや気付いたことを言葉で表現させるようにする。	・ 学習形態やオリジナルの教材などを工夫し、スモールステップで、めあてをもって楽しく学習に取り組めるようにする。



・ 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 音楽の仕組みや楽譜の読み方など、既習事項と関連させ音楽を形作る要素についての知識を身に付けさせる。 ・ 多様な音楽に触れさせ、楽器についての知識や演奏に必要な技能を身に付けさせる。	・ 鑑賞のポイントをはっきりさせることで、楽器の音色や演奏の良さ、演奏の工夫などに気付かせるようにする。 ・ 工夫したことや良さ、気付いたことなどを、音楽を形作る要素を使って言葉で表現させるようにする。	・ 学習形態やオリジナルの教材などを工夫することで、めあてをもって課題解決に臨むとともに、音楽活動する楽しさを感じることができるようになる。



・ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ リズムの形から楽譜を読むなど既習事項を生かして、読譜力を高めていく。 ・ 個に応じた課題を設定し、音楽表現に必要な技術をスモールステップで習得させる。	・ 既習事項を生かしたり、楽譜からの情報を根拠に表現の工夫を考えたりできるように、学習の流れをはっきりさせる。 ・ 工夫したことや思い、良さなどを、音楽を形作る要素を使って表現し、伝え合える場を設定するようにする。	・ 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動する楽しさを感じることができるようになる、学習形態を工夫する。 ・ 行事等での発表を意識させ、めあてをもって課題解決に取り組ませる。